

1. 件名：新規基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【334】
2. 日時：令和4年12月9日 13時30分～15時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、  
中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、  
谷口技術参与

技術基盤グループ

大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他4名

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他7名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 課長代理 他1名※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

## 6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁のチギラです。それでは、一番の原子力発電所 2 号機の設工認のヒアリングを始めます。
0:00:08	本日の議題は、
0:00:10	説明項目は、
0:00:12	鳥海設計法人の浸水防護施設の設計等と、あと耐震計算書の可搬設備となります。
0:00:20	それでは資料の確認と、ヒアリングの進め方についてお願いいたします。
0:00:26	はい。中国電力の高松です。それでは本日のヒアリング、
0:00:34	浸水防護施設の設計の関係逆止弁のご説明と、あと耐震計算書を補完型設備ということで、資料の確認をさせていただきます。それでは、まず、資料番号一番としまして、
0:00:47	N-SにA-他-231、A会員の 06 ということでこれ、これを一番でお願いします。
0:00:55	はい、回答整理表です。続きましてN-SにA-添 1、A-004、甲斐 07 ということで、津波配慮説明書ということでこれ 2 番でお願いします。
0:01:10	はい。続きましてN-SにA-添 3A-015-01、A会員の 02 ということでこちら資料番号 3 番でお願いします。
0:01:21	はい。続きましてN-SにA-添 2、A-011-11 ということで逆止弁の耐震計算書ですけどこれを 4 番でお願いします。
0:01:34	はい。続きましてNS2- 3-015-07 ということでこちら、強度計算書ですと 5 番でお願いします。
0:01:45	はい。続きましてN-Sに-補を-027-08、簡易の中ということで補足説明資料を 6 番でお願いします。
0:01:57	はい。
0:01:58	続きまして、この可搬型可搬設備の方に行きましてNS2-他-255 ということで、こちら 7 番お願いします。
0:02:10	続きましてN-Sに-添 2-018-02、A会員の 01 ということでこちら 8 番でお願いします。
0:02:22	はい。次はN-SにA-A. 2-018-02、A会員の 01 括弧日ということで、こちら 9 番でお願いします。
0:02:35	で、続きましてN-S2-方-027-0 給付会の 01 ということで、こちら補説を 10 番とさせていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:47	本日の進め方ですけども7番から10番の資料を使いまして先に可搬型設備可搬設備の耐震計算書をやらしていただきまして、
0:02:56	その後、一番から6番の資料を使いまして、屋外排水逆止弁の関係の施設名を、6番の資料を使って主にご説明をさせていただきたいと思えます。以上です。
0:03:10	はい、わかりました。
0:03:11	それでは可搬設備の方の説明からお願いいたします。
0:03:17	はい。中国電力の荘司です。それでは資料7番から10番を用いまして、可搬型重大事故等対処設備のオカ場所、入力地震動についてご説明いたします。
0:03:29	ではさ、まず、
0:03:31	資料8番の添付資料。
0:03:34	お願いします。
0:03:35	1ページをお願いいたします。
0:03:39	まず本資料の位置付けになりますが、本州につきましては、可搬型重大事故等対処設備、
0:03:45	この加振施工等解析等に必要となる入力地震動を行うため、入力地震動を求めるために行うものでございます。
0:03:54	本資料におきまして基準地震動 $S_s$ を基にした保管場所の地震応答解析結果をお示ししてございます。
0:04:02	続いて2ページをお願いいたします。
0:04:05	島根サイトにおきまして位置的分散を考慮し、可搬型重大事故等対処設備の保管場所を台帳管理やから、第4保管エリアまで設定しております。
0:04:15	このうち第2保管エリアにつきましては、ワダに貯水槽西側の上に設置されたものでございまして、こちらの本体評価の当初が第7回補正で提出予定でございまして、
0:04:28	第2保管エリアにつきましては随時とさせていただきます。
0:04:33	3ページお願いします。
0:04:36	保管場所入力地震動につきましては水平方向連地区方向に対し、介護基盤表面で定義される基準地震動 $S_s$ をもとに、地盤条件を考慮し、
0:04:47	地震応答解析を行います。図3-1にいる久慈進藤算定フローをお示ししてございます。
0:04:53	4ページをお願いします。
0:04:56	4ページに解析条件を示してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:59	第 1 第 2 第 3 保管エリアにつきましては 2 号エリアに設定されてごさいますので、2 号物性を、
0:05:06	第 4 保管エリアにつきましては 3 号エリアでございまして 3 号物性を使用しております。
0:05:12	5 ページをお願いします。
0:05:15	5 ページに地下水の設定を示してごさいます。地下水につきましては、すべて地表面で設定しております。
0:05:24	続いて 6 ページをお願いします。
0:05:28	6 ページに地震応答算定位置をお示してございまして、第 1 第 3 第 4 回元につきましては、各に 1 点ずつ設定しております。
0:05:38	次のページ 7 ページから、
0:05:41	10 ページにかけまして地番と算定位置での 1 次元モデルをお示してございます。
0:05:47	11 ページをお願いします。
0:05:50	11 ページに地震応答解析に用いる地震動算定の概念図をお示してごさいます。
0:05:57	12 ページをお願いいたします。
0:06:00	12 ページに地震応答解析ケースをお示してございまして、こちらにつきましては剛性のばらつきを考慮する解析を行ってございまして、本資料につきましては基本ケースの結果のみお示してございまして、
0:06:12	13 ページをお願いします。
0:06:16	13 ページに地震応答算定結果の
0:06:20	各保管場所における、各地震動の最大水平加速度と鉛直加速度をお示してございまして、
0:06:28	以降、16 ページからですね、実施時刻歴は系統加速度応答スペクトル。
0:06:35	この基本ケースを前を、算定位置におけるものをお示してございまして、
0:06:40	添付資料の説明以上になりまして続いて資料 10 番の補足説明資料をお願いします。
0:06:50	こちらに添付資料と同様解析条件をお示してございまして、
0:06:56	6 ページをお願いします。
0:07:00	6 ページに、1 次元モデル作成に用いた実質断面図と、そのボーリング所の条件を示してごさいます。まず 7 ページに地質断面図をお示してございまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:14	その次のページに、
0:07:16	1次元事象と解析モデルという具合で、AII第3保管エリア第4保管エリアについても同様にお示しております。
0:07:27	続きまして、19ページ、失礼いたしました。18ページをお願いいたします。
0:07:35	18ページから補足説明資料の別紙3ということで保管エリアにおける地盤の振動特性についてということでお付けしてございます。19ページから、第1保管エリア北側、
0:07:49	と、
0:07:50	失礼しました19ページから各保管エリアの地震応答算定位置での最大加速度、最大変位最大ひずみの震度分布をシンプつお示してございます。
0:08:01	こちらで1点訂正をさせていただきます。
0:08:05	と21ページに第3保管エリア西側におけます震度分布図をお示してございますが、こちらが添付資料に載っている、地震応答解析結果と、
0:08:16	ちょっと整合しておりませんでして、こちらの震度分布図の数値が誤っております。大変し、申し訳ございませんでした。
0:08:24	可搬型設備に関わるご説明は以上になります。
0:08:32	規制庁のキムラです。すいません。はい。
0:08:36	はいどうぞ。
0:08:38	はい、中国電力荘司です。
0:08:40	資料9番の比較表を説明しておりませんでしたので説明させていただきます。
0:08:46	失礼しました。
0:08:50	資料9番お願いします。
0:08:54	こちらにセンコーの柏崎7号と女川2号との比較、添付資料の規格表をおつけしてございます。
0:09:02	1ページ目におきまして総意のナンバー123とお示しておりますが、
0:09:08	そういうナンバー1として、島根2号では、各保管場所におけるボーリング調査位置図を補足説明資料に記載しているということで、
0:09:17	柏崎におきましては、ボーリング、
0:09:21	データから1次元モデルを作成しておりますが、島根におきましては地質断面図から1次元モデル作成しているということで相違点-1として挙げております。
0:09:30	続いて相違の2といたしまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:36	柏崎女川におきましては互換場所に、
0:09:39	それぞれ解放基盤表面が異なりますので、そこが島根と違うという点で、そういうのナンバー2を示してございます。
0:09:47	そういうナンバー3といたしましては、
0:09:50	柏崎におきましては、保管場所内に梅田は埋戻動が分布することで、こちら埋戻し動におけるばらつきを考慮した解析結果をお示ししております、
0:10:01	そちらがナンバー3となります。
0:10:05	こちらの3点が主に先行との相違点になりますのでこちらで説明を割愛させていただきたいと思います。
0:10:14	説明は以上になります。
0:10:18	はい、井関岩倉です。それでは、今の説明に対して確認する点がある方お願いします。
0:10:36	すみません規制庁の仲村ですけども、もう、記載の点だけなんですけど、先ほどの資料でいくと、
0:10:46	8番目の資料ですかね、7ページとか
0:10:51	9ページ10ページのあたりもなんですけど、これちょっと教えてもらいたいのは、例えば7ページでいくと、
0:10:57	工費、
0:10:59	例えば上の図でいくと、表ですかね、でいくと、上から、第2層3466っていうふうになんか6が二つあって、で、
0:11:10	右の方見てると、
0:11:14	ゴソウとかっていうのが抜けてるんですけど、これはこれで合ってるんですかっていうのをちょっと確認したいんですけど本間他の表とかのところも同じようになってるんですけども、
0:11:24	5層がなくていいのかっていうのをちょっと確認させてください。
0:11:33	中国電力のユリです。すいませんこちらの一次元の位置にはですね第5層に対応する速度値のものが分布しておりませんので、この1次元観。
0:11:44	ていただくと、4層の次に6層が出ていると、そういった格好になってございます。以上です。はい。あと、あれですよ。これが合ってるかどうかだけの確認だったんですけど
0:11:57	7ページとか9ページ10ページの辺りってというのはそういうような感じで構想とかが飛んでるんですけどそれは、
0:12:06	記載の間違いとかそういうのではないということですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:11	はい中部電力李です。おっしゃる通りでございます。ちょっと資料の 10 番の方を見ていただきたいんですけども、
0:12:19	こちらの 7 ページの方にですね、先ほど荘司の方が説明しました、1 次元の根拠となる地質断面図を付けしております。
0:12:29	こちらで赤色で記載しておりますのは速度層の分布になってございますけども、
0:12:33	見ていただきますと 4 層の下に 6 層ということで、
0:12:37	こういった速度値に対応するようなものがこちらに分布しているということでございます。以上です。
0:12:43	はい、わかりました。私からは以上です。
0:12:53	はい、ほかお願いします。
0:13:03	規制庁のハツリです。
0:13:06	8 番の資料の、
0:13:08	5 ページお願いします。
0:13:16	この(2)のところで、
0:13:19	地下水位は保守的に地表面に設定するとあるんですけども、
0:13:26	これ
0:13:28	地方面に設定することによって、
0:13:32	解析条件としては何が変わるんでしょうかどうぞ。
0:13:38	はい中国電力の荘司です。こちらについて保守的という記載がちょっと誤りでございまして正しくは保管アクセス数の斜面等々、同様の評価で次表面に設定すると。
0:13:50	いう記載が正しいかと思えます。
0:13:52	星。
0:13:54	地表面にすることでご指摘ということですけども地下水以深の、梅田におきましては、鉛直度算定の際にですね、 $V_p$ が、水の方が早いということで体積弾性係数 $K$ が一定になるよう処理を行ってございます。
0:14:09	ですが今回すべて岩盤でございますので今回の算定結果に影響はないと思っております以上です。
0:14:18	規制庁のハツリですはいそういうところに違いがあるってということですね
0:14:23	私が少し思ったのは地下水位を上げると、その部分が単位体積重量が、
0:14:31	少し

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:32	大きくなるなということで、それで保守的になるのかなってちょっと思ったのでちょっと確認したんですが、
0:14:38	地下水オチ方面にしても、
0:14:40	入力地震動算定においては今回保守的にはならないということで、記載が適正化されるということでよろしいでしょうかどうぞ。
0:14:49	はい中国電力の荘司です。今羽鳥さんがおっしゃった通りでございます。以上です。規制庁のハツリですはいわかりました私から以上です。
0:15:05	規制庁大橋です。⑧番の資料の17ページ以降から、
0:15:11	加速度応答スペクトルの
0:15:14	グラフが、
0:15:15	減衰定数1%と8%と、二つずつ並んでいるんですけども、
0:15:21	ちょっと私最近可搬型の審査は出てなかったんで、
0:15:25	ちょっと8%って、聞き慣れないところが出てきたもんですから、これ多分可搬型で8%の減衰を持つ。
0:15:34	設備があるんだろうなと思います。資料のどっかにですね、1%っていうのが、どういう設備で8%がどういう設備だっていう、
0:15:46	代表的なものでいいんで、ちょっと書いといていただきたいなという、規制、記載の充実のお願いなんですけど。
0:15:54	これちょっと8番が補。
0:15:56	添付資料なんで、ちょっと書きにくいかなと思うんで、
0:15:59	⑩番の補足説明。
0:16:02	資料の方に、ドッカーで、
0:16:05	これちょっとスペクトルが出てこないんでまた書きにくいと思うんですけど、書いていただければなと思います。
0:16:11	あともしかするとこれ、申請書のどっか気リーダ強いてる。
0:16:17	今日の資料だと思うんで、
0:16:19	他の一連の新提出資料の中に書いてあるっていうんだったら、それはそれで納得するんですけども、
0:16:28	そういうことでお願いします。
0:16:32	中国電力の林です。現状、減衰定数8%については車両型の設備で定期を設定する円錐定数でございます。ご理解の通りでございます。減衰定数8%をどの設備に使ってるかっていう記載につきまして六ヶ所の資料で見えるようにしたいと思います。以上です。
0:16:48	はい大橋ですよろしくお願ひいたします以上です。
0:17:06	規制庁、日浦です。他、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:09	よろしいですか。
0:17:12	すいませんちょっと私から1点、
0:17:16	確認なんですけど10⑩の資料の、
0:17:19	15ページと16ページのところ、
0:17:24	殊、D、
0:17:27	15ページのところ2、地下構造モデルか。
0:17:32	あって、上の表は、12号より地下構造モデルで、
0:17:38	1の表は3号経理や、
0:17:40	の地下構造モデルになっています。
0:17:44	で、第4保管エリアっていうのは山号機エリア。
0:17:48	なるので、ただ表の
0:17:51	速度層を使うんだと思うんですけど、その時に、
0:17:56	入力地震動を持った時に16ページの
0:17:59	概念図があったときに、対応基盤モデルとしては2号の、
0:18:05	リアクターのところのモデルを使って、
0:18:08	それで衛藤。
0:18:10	今日構造としては1ミイコウノ、加速度増とか言います。
0:18:14	で、その第4保管エリアについては、
0:18:19	右側のところについては、速度地下構造モデルとしては3号機のものを使うと。
0:18:26	ということになるんですけど、それはそういう対応でやられているということで、
0:18:32	理解して大丈夫ですか。
0:18:36	はい。中国電力宇井です。今おっしゃった通りでございます。第四課につきましては、引き戻しの解放基盤モデルは、3号のモデルを使いまして、
0:18:47	引き上げのときも、こちらの15ページに記載の3号物を用いて引き上げを行う、行います。以上です。
0:18:56	はい、わかりました。以前あれすか入力地震動のところでも説明受けた。
0:19:05	今日決着も同じような説明があったというふうに理解しても大丈夫ですか。
0:19:13	はい中部電力李です。ちょっと建築の資料まで把握できてないですけども、度藤建築側の方も同様の整理を行っていると考えております以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:24	はい、わかりました。
0:19:26	はい。
0:19:27	私からは以上ですけど。
0:19:30	ほぼよろしいですかね。
0:19:34	はい。
0:19:35	それでは、この可搬設備の入力地震動については、はい。以上としたいと思います。
0:19:42	それでは次の資料の説明をお願いします。
0:19:48	はい。中国電力の高松です。それでは、浸水防護施設の設計等ということで、オク排水逆止弁ですね。
0:19:58	こちらの耐震計算書を共同経産省、これについて補足説明資料を使って、およそ 20 分から 25 分程度ぐらいでご説明させていただきます。
0:20:10	説明の中でですね、以前、9 月 16 日に復配する逆止弁については許容限界の考え方のご説明さしていただいております、
0:20:19	その際に主にアンカーの関係で、コメントをいただいておりますので、今回それについてもご回答できるように、資料を作って参りましたので、それについてもあわせてご説明、回答させていただきたいと思います。
0:20:33	で、等ですね、資料番号 4 番 5 番に耐震計算書と強度計算書今日お持ちしてるんですけど、こちらについては第 6 回申請時のものそのものをちょっとつけさせていただきますと、
0:20:47	今後ですね、我々不具合する逆止弁については全 14 基すべてですね、耐震評価、強度評価をして参りますので、そちら補足説明資料とあわせて、
0:20:58	計算書も整合させてですね、適正化して今後お出ししていくということで、今回はちょっと申請時のものということでご了承いただければと思います。それでは補足説明資料を使いましてご説明させていただきます。
0:21:14	ここは、はい。中国電力の寺本です。
0:21:17	では、資料ナンバー6 ですね、浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料の方をもちまして、説明させていただきます。
0:21:27	本日説明する項目ですけれども 2 ポツ、
0:21:31	の浸水防護施設の耐震強度に関する補足説明の中の 2.4 ですね、浸水防止設備に関する補足説明、この中に 2.4. 1 入っております。
0:21:42	屋外排水学習に関する補足説明と、この内容を説明して、していきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:48	はい。ページ 4 ページから、補足まず解析に関する補足説明ページ 5 ページに、
0:21:55	の方が耐震性についての原産所に関する補足説明。
0:21:59	の方が、ここから始まります。
0:22:02	6 ページから目次ありまして、8 ページですね、概要を示してございます。今回 9 ページの方には、平面図の位置関係、
0:22:15	示しておりますけれどもオク排水の逆止弁としては、1 から 13 までですね、全部で 14 基、
0:22:21	ございます。この中につきまして本日ですねお示するのが、7、8-18-2、あと 10 から 13 について本日の資料を整理してございます。
0:22:33	まだ 10、また 1 から 69 についてはですね、まだ設計地震動等決まっていなくて随時にさせていただきたいと思っております。
0:22:45	ページ 10 ページの方から、構造概要の方を示しております。これが本日説明する、⑦ですね。
0:22:53	8-18-2。
0:22:55	101112 月 13 というような 7ヶ所について説明したいと思っております。
0:23:02	17 ページから行動計画ございまして、逆止弁の方につきまして、
0:23:07	説明とですね計画の概要の方、それぞれの
0:23:11	役所について整理しております。
0:23:14	101112 が同じ形状ですのでこれはまとめて整理しております。
0:23:20	23 ページ目に、耐震評価フローの方を示しております。お伺いする逆止弁の評価では、この中でですね何か耐震計算をやっているわけではなくて
0:23:31	防波壁のですね地震応答計算書の方から、
0:23:35	応答結果を持ってきまして逆止弁の方の、
0:23:39	評価の方実施しております。
0:23:44	続きまして 29 ページに飛びます。評価対象部位の方を示しております。100 シバの形は主に 2 種類ございまして、29 ページの方にマル型の逆止弁。
0:23:57	30 ページの方に、
0:23:59	角型の逆止弁 2 種類示してございます。
0:24:02	それぞれ耐震のの時にかかる荷重を考えまして、
0:24:08	評価部位の方を設定しております。
0:24:10	基本的にはスキンプレートでつり金具釣手がありましてあたりがあつてそのトータルから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:18	渡り部コンクリートの方に力が加わっていくというところで整理をしております。各間についてはですね0型に加えて、繁田と保立北のこちらの方を評価していくということで考えております。
0:24:29	続きまして、31ページの方に行きまして、こちらの方ですね、耐震計算に使う固有周辺を計算を行っております。
0:24:38	固有周期としましては開門時と閉文字の2種類で行っております。
0:24:45	はい。続きましてページ43ページの方に見てみまして、給与限界の方向で設定しております。
0:24:54	こちらの方についても先ほど評価しまして、設定しました評価対象部位について、協議会の方を設定しているというような状況でございます。
0:25:03	続きまして46ページになります。46ページの方から設計用地震力の方。
0:25:08	設定しております。
0:25:10	設計用地震力は、先ほども申しました通り、防波壁の仕事計算書が書かれて、作られている部分に合わせて、地震、
0:25:20	の耐震評価する断面を選定しております。
0:25:25	ということで、今回、逆止弁の中が、8-18-2については、3号東側の逆T溶液の地震応答計算書の方から、
0:25:36	地震動を持って参ります。
0:25:38	この場合に、この3号東野断面のうちですね、
0:25:43	逆止弁に近い。
0:25:45	断面図で示しますと、
0:25:48	ページ47ページの方見ていただきます。
0:25:52	こちらの方に平面図の中にですね、逆止弁の位置と、
0:25:59	解析が実施されている断面の位置が、記載されております。
0:26:03	この中から、解析が実施されているためとして4番と一番と、
0:26:08	あと6番の方を選定しております。
0:26:11	この中から、6についてはですね、
0:26:15	1の方に、ちょっと応答も少ない小さいというような結果が出ておりますので1の方に代表させて、一番と4番の断面で、
0:26:25	地震応答長家へ比較した上で、大きいところで計算していくというふうに考えております。
0:26:32	46ページの表5-3の方に、
0:26:35	マツノまで来てる部分なんですけれども、
0:26:38	ゴトウ値の方を示しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:42	あと、0404 段目についてはまだ出て応答値の方できちんと出ておりませんので、こちら確定してからまた記載、記載したいと。
0:26:50	考えております。
0:26:52	はい。
0:26:54	続きましてページ 50 ページにおきまして、この 12 号の北側のエリア、
0:26:59	部分になります。
0:27:01	こちらについても同様の考え方で、こちらの地震応答計算書ですねこちらについている断面、こちら、ページ 51 ページのほうに断面内載っております。
0:27:13	オク排水逆止弁に近いところとしまして一番と 2 番と 5 番ですね。
0:27:19	11 段目にダムを駄目補助を前提しております。ただしこの中で 5 号断面については、一番のですね、岩盤の位置が高いということで地震の応答値が、
0:27:30	小さくなるだろうというところで、一番と 2 番の方を最終的に残しております。
0:27:35	この一番と 2 番の解析の結果が出たところで、
0:27:40	最終的に大きい方取って、結果検討を進めていきたいというふうに考えております。
0:27:47	はい。
0:27:48	続きまして、
0:27:49	58 ページの方に行きます。
0:27:53	ここで評価対象部位に関する評価方法を記載しております。
0:27:58	58 ページから、スキンプレートで次のページ、次金具ですね、それから 62 ページについて、
0:28:08	それから、64 ページにⅢ品で 66 ページとあたりの方ですね。
0:28:13	それからもう、次のページに行きまして、67 ページに集水柵の当たりコンクリート、
0:28:22	あと 68 ページに、
0:28:24	アンカーボルトですね。
0:28:27	のところの計算式の記載しております。それから、AII、それに加えてですね角型につきましては 69 ページに示しております。
0:28:35	70 ページに示しております重田ですね。
0:28:38	それから、
0:28:40	72 ページに示しております。補助縦型の方についても、計算式のほうを示しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:49	この計算式を用いて、計算を実施していくということでございます。
0:28:55	ちょっとページを飛ばしまして 176 ページ。
0:29:00	思いですね。
0:29:03	こちらから今回の対象部品についての評価結果の方を記載しております。カフ逆止弁ごとに、表 6-1 の中に、両括弧 1 から順に記載しております、
0:29:17	こちらが
0:29:19	180 ページまで、
0:29:21	181 ページまで結果の表を載せてございます。
0:29:25	この中でですね、照査値最大となるのが、180 ページにあります、逆止弁 13 のですね、一番表の一番下にあります釣手
0:29:36	の下から 2 番目ですね、合成応力度のところ、照査値 0.51、これが
0:29:42	逆止弁の部材として最大の照査値のある部分になっております。
0:29:47	はい。続きまして 108 個以上で逆止弁についてここまでになります。
0:29:52	次は 182 ページに参りまして、
0:29:55	修正マツノ。
0:29:57	評価を実施しております。
0:29:59	集水枡についても逆止弁と同じ位置の、
0:30:02	部分の集水枡を評価しております。183 ページからの構造図、示しております、
0:30:10	189 ページまでですね、構造図がナンバー 13 が 189 ページになります。190 ページの方に
0:30:17	こちらの集水枡につける蓋の方の概要図と、構造の方、記載しております。
0:30:24	続きまして 193 ページに参りまして、
0:30:27	評価項目の方、表現方に示しております。
0:30:33	評価項目としましては、構造部材の健全性であるとか、構造部材の支持性能の方、記載可能か今回検討してございます。
0:30:41	続きまして 194 ページの方に評価。
0:30:44	耐震評価フローの方を示しております。
0:30:47	こちらについてもですね、逆止弁と同じで、地震ほど計算書から地震応答値を持ってきて、
0:30:55	各集水枡の方の部材を調査していくと。
0:30:58	というような考え方で実施してございます。
0:31:01	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:02	続きましてページ 198 ページに移りまして、
0:31:05	こちらの方で許容限界の方設定しております。
0:31:09	こちらの方の集水柵もですね部材にそれぞれにつきましてコンクリートであるとか鉄筋について、許容限界の方を設定しております。また、修正マツノ法で
0:31:19	検討いたします。アンカー金とかですね、ここで言ってます接合鉄筋、あと蓋であるとかアンカーボルトですね。
0:31:27	それぞれについても、許容値をこちらの方で示しております。
0:31:32	200、2 ページにいきましてこちらの方に評価方法を示しております。
0:31:37	集水柵の底版と側壁ですね、あと、アンカー金と接合。
0:31:43	鉄筋、
0:31:44	あと、越中すいません蓋の評価ですね、ここはちょっと、一部、適正化図りたいところございまして修正ミズタなんですけれども、
0:31:53	主査の佐川ですね、ここに書いてあるのがページ 190 ページ。
0:31:59	もうちょっともう 1 回戻っていただきまして、
0:32:02	主にはソフトが、
0:32:04	構造図がありますけれども、蓋の評価につきましては、
0:32:08	補強張り、
0:32:13	単純縛りですね、視点と考えまして、幅が 50 センチですね。
0:32:19	の、単純縛りとして検討を行っております。
0:32:23	従いましてこれに備え、合わせてですね、こちらの方の文章の方訂正していくという予定でございます。大変申し訳ございませんでした。
0:32:31	続きまして 5.8. 5.5 でアンカーボルトの評価の方を示しております。
0:32:37	続きまして 205 ページにいけます。205 ページから集水マツノ評価結果のほうを示しております。
0:32:45	表になりますと 213 ページから、
0:32:48	結果ありまして、各集水柵ごと、
0:32:52	2、部材ごとの評価値を示しております。
0:32:58	こちらが全部で
0:33:02	122 番ですね、222 まで。
0:33:04	評価結果のほう示しております。
0:33:07	この中で今回木曾たち最大となりましたのが、
0:33:10	ナンバー13 のですね、接合鉄筋と鉄筋で防波壁にくっつけてるところの鉄筋を評価した結果、照査値としては 0.75 と。
0:33:21	いう値が出ておりますこれは、今回最大の数字になっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:27	以上で本編の方の説明が終わります。
0:33:31	続きまして、
0:33:33	通し番号 223 ページから参考資料 1 と、
0:33:37	ということで、整理しております。
0:33:40	こちらがですね、回答整理表、
0:33:43	の方の
0:33:45	5 ページ目。
0:33:47	ナンバーでいうところ、9 番と 10 番ですね。
0:33:51	すいません、資料番号ですね、一番です。はい。失礼しました。
0:33:55	資料番号一番の回答整理表。
0:33:57	の、5 ページのページ、
0:34:03	はい、No.の 9 番と 10 番ですね、このときのコメント内容ですね、アンカーメーカーの評価式及び体力試験の適用性妥当性を説明することで 10 番については、
0:34:13	各種合成構造設計指針同解説とメーカー評価式を比較するなどの連続性を確認した上で、メーカー評価式の適用性を説明することというコメントをいただいております。
0:34:24	これにつきまして、参考資料 1 の方で回答したいというふうに、
0:34:29	しております。はい。
0:34:31	そちらの方説明して参ります。
0:34:35	223 ページのほうにフロー図のほうを整理しております。
0:34:38	ここの中で、今回やっておりますのが、この主逆止弁ですね、集水柵の方に使っております伴カーキン一覧表を作成しまして、この中で、
0:34:51	どれが、各種合成指針に適合するかと、また適合していないものについてはどういう方法でせえ表を進めていくかというところを整理してございます。
0:35:01	ページめくりまして 224 ページ、こちらの方に、使用しており、使用しておりますアンカーの一覧の方を示しております。
0:35:10	ここはナンバー1 からNo.13 までですね。
0:35:13	14 につきまして、逆止弁の戸当たり分の販価であるとか、
0:35:18	集水ます、蓋の固定部なんかであるとか、そこですべてなんかの方へ、
0:35:24	整理しております。この線案がどこに使われているかと。
0:35:28	いうところが 225 ページから図のほうに整理しております。
0:35:32	こちらが 225226 ですね。図、1 個ずつ整理してまして
0:35:39	230、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:40	2 ページまで、こちらの図のほうを整理しております。
0:35:45	これから、2.2 ですね、220、233 ページから、資料の 2.2 になりまして、適用範囲の整理を行っています。
0:35:56	これが各種構造指針の適用範囲を整理した表になってます。この表に照らしまして、今表では全部のA案が示しました表 2-1 で示したアンカーについて適合しているかどうかということ判定していております。
0:36:10	これが 234 ページの表 2-3 ですね、こちらの方になっております。
0:36:15	この中で表 2-3 の両括弧 5 ですね、これ 235 ページの表の一番下の部分ですけども、
0:36:22	これがアンカーの形がですねD-29 というところで、これがこれだけが、各種合成指針適用してないアンカーというところで今回抽出しております。
0:36:33	続きまして 237 ページになります。
0:36:36	こちらでメーカーの規格の適用性を確認しております。
0:36:41	で、メーカーとしましてはですね、今回使用しておりますのが、旭化成のですねARケミカルセンターというような商品を使用しております。
0:36:50	こちらの製品が、D29 のアンカーについて使えるかというところを、県下の確認してございます。
0:36:58	238 ページにあります、表 3-3 ですね、こちらの方でメーカーの適用範囲のを整理しております、
0:37:06	メーカーとしましては奥秋委員はD-6 から 51 の方が使えるというふうにしておりますので、D29 についても適合、その他の条件に適合していると。
0:37:16	いうところで、
0:37:18	適用され、適用可能であると、メーカーの、
0:37:22	きちんしたこと適用が可能であるということを確認してございます。
0:37:26	次の 239240 ページの方に、
0:37:30	メーカーの
0:37:31	メーカーの定めるですね、体力与える式の方を引っ張り、と、仙田について示しております。
0:37:40	次に続きまして 241 ページの方から、
0:37:44	許容限界の比較を、メーカーの評価式と各種技術士、各種合成で計算した、教育委員会の比較の方検討しております。比較に用いたデータは、メーカーがこの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:00	アンカーのですね、ケミカルアンカーの強度確認使った試験結果の方から資料を持ち、持ってきてまして、比較を行っております。
0:38:12	241 ページの共用の位置に使用してある、
0:38:17	アンカーの形であるところで 1203 を整理してございます。
0:38:21	242 人、その気象した機械でですね、試験の装置の方を示してございます。
0:38:27	結果の方が 243、244 の方に、
0:38:31	表として整理しております、
0:38:34	この試験の結果とあわせて、各種合成指針等でですね、メーカー式の方で計算した結果を比較した表が、ページ 246 でこれをグラフにしましたのが、247248 になっております。
0:38:50	247 の方が、引張試験ですね。
0:38:53	240、
0:38:54	247 引っ張り式 248 の方がせん断試験で、グラフが二つあるのは、上の方が 1 回目の試験しか下の方に 1 回目の試験というふうな結果になってます。
0:39:05	で、このグラフを見ると、この青がですね、今回メーカーがやっている試験の結果でございます。
0:39:11	で、
0:39:13	オレンジ色がメーカーの評価式で計算した結果、
0:39:17	グレーが、各種合成指針で計算した結果というふうに今回三つの値を比較しております。
0:39:24	この結果からですね、次の 245 ページに整理しておりますけれども、
0:39:30	①、②に示します通り、
0:39:35	予備系がですね何で大きくなると、殊連続的にですね、体力の方の計算値の方が増えていくというところを確認できます。
0:39:44	また、引張試験ではですねどちらかといいますと、メーカー評価式の方が大きな値が出てくると。
0:39:52	で、せん断の家ケースになると、どちらかというとその各種合成の方がですね、
0:40:00	大きな耐力の方が出てくるような結果となって、計算結果になってございます。
0:40:06	以上よりですね今回の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:09	当社のD29 のアンカー金につきましてははですね、内容を見ると、どちらか一方のですね評価式が必ずしも保守的といえるような関係にあるものではないと。
0:40:20	いうところもございますので、メーカー基準のですね範囲に従いまして、D25 までは、各種構成の方使いまして、25 を超えた分ですね、臨職につきましてはメーカーの評価式と、
0:40:34	いうことで適用しようというところで考え、判断しております。
0:40:38	はい。
0:40:40	ページ 249 ページになります。ここからですね今回の主逆止弁の固定に指導してして、使用しておりますL型アンカー。
0:40:53	の試験を行った結果を整理しております。250 ページに、試験の構造、
0:41:00	構造体全試験体の構造図が示しております。上が引張ですね下がせん断はい。
0:41:07	なります。続きまして、251 ページの方に、
0:41:12	今回行った試験、3 種類行っております部材引張試験埋設引張試験、
0:41:17	埋設せん断試験を行っております。次のページが、そのそれぞれの試験で使った試験機の方になっております。
0:41:26	253 ページのほうに結果の方を示しております、これが引張母材引張試験ですね。
0:41:32	この部材引張試験の結果からは、59kNという数字を設定しております。
0:41:38	254 ページの方が、
0:41:42	引張埋設引張試験でコンクリートに見込んだ上での試験を行っております。
0:41:47	これもあわせて引張りの耐力として 59kNを設定しております。
0:41:52	255 ページの方に今度せん断の結果を示しております、こちらの結果から、200、27.1kNの値を設定しております。以上より 6 にまとめますが、
0:42:04	2、表を 6-1 に整理してます。青ですね、青で塗りつぶしているところに会社に 29 ですのでこちらメーカーの評価式。
0:42:13	それ以外につきましては各種合成指針の方で、
0:42:16	検討を進めていきたいというふうに考えておりますし、またL型のアンカーの引張り式に関しましては、引張の耐力を 59kN、せん断耐力を 27.1kNで設定したいと。
0:42:28	これで考えております。
0:42:31	続きまして、258 ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:34	になります。こちらから、強度計算書に関する補足説明書になります。
0:42:41	262 ページに、
0:42:43	平面図を示しておりますけれども、ここは耐震計算書と同じ
0:42:48	逆止弁について、
0:42:50	実施していきます。
0:42:53	月 270 ページに飛びまして、構造計画、
0:42:57	ございます。こちら、
0:43:01	耐震計算書と同じような記載をさせていただいております。
0:43:05	ここで 276 ページの方に評価方針を整理しております、
0:43:10	島根原子力発電所の、
0:43:14	サイトウの特性からですけれども、日本海島縁部を波源とする基準津波がですね、それから大きいと、それに比べて海域活断層波源とする津波、
0:43:24	の方が、4.9 メートル。
0:43:27	をたくさんやりますと、
0:43:29	いうところここで一旦仮儒の評価、
0:43:32	考えまして、ここに記載しておりますけれども、
0:43:37	津波荷重と余震との重畳を考慮した、
0:43:41	荷重をですね、津波の荷重が、津波のエレベーション 12.6。
0:43:47	メートルの高いものですからこちらの方が包含するということで、す最大荷重となる日本海島縁部の入力津波高さに、
0:43:55	よる。
0:43:56	津波荷重を考慮した評価を実施していくと。
0:43:59	いうふうな方針で今年今回検討しております。
0:44:05	それから、277 ページの方に、
0:44:08	影響度評価のフローを示してございます。
0:44:13	はい。
0:44:14	281 ページに評価対象部位を示しております。
0:44:20	285 が許容限界になってまして、
0:44:24	287 ページから、
0:44:26	計算方法を示しております。
0:44:30	はい。
0:44:41	あと、先ほどと同じように、構造の
0:44:45	耐震と同じように構造の部材を示しております、
0:44:54	316 号、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:01	すいませんちょっと
0:45:03	失礼しました。316 ページ。
0:45:07	の図 4-21。
0:45:10	付けたのモデル図を示しておりますが、この平面図の方が、ちょっと図の方が間違った図が張りつけております。こちらにつきましては適正化。
0:45:20	して示したいと思います。大変申し訳ございませんでした。
0:45:24	はい。続きまして、324 ページの方に行きまして、
0:45:29	編集水マツノを、
0:45:31	すいません。失礼しました。
0:45:34	ここで 324 ページの方に、評価結果のほうを示しております。
0:45:40	評価結果の中ではですね、325 ページの表 5-1 の両括弧 5 ですね、この中野繁田の一番下の合成応力度、これ照査値 0.35。
0:45:52	これでありましてこれが一番大きな調査値になっております。
0:45:56	次のページから集水マツノ強度評価の法制医師でございます。
0:46:01	図とかは先ほどと同じような図が出ておりまして、引っ飛びまして 334 ページの方に評価方針の方を示しております。
0:46:12	336 ページに評価フロー。
0:46:15	で 330、
0:46:18	300 は失礼します 340 ページに、評価は許容限界の方を示しております。
0:46:26	343 ページの方に、評価方法を示しておりまして、こちらにつきましては、基本的に先ほどの耐震と同じような方法で実施しております。
0:46:39	荷重が津波の荷重がかかってくると。
0:46:41	いうところで、関係としております。
0:46:44	そちらの結果の方が、100354 ページから、
0:46:48	結果の方を示しております。
0:46:51	この中で最大の照査値が出てくるのが、356 ページ。
0:46:56	集水のせん断力評価結果のほうになりますけれどもこの一番下ですね、表 8.3 の両括弧 1 の一番下の No.13 のところが、
0:47:07	人達 0.64 が出ましてこれが詳細中心最大の値になっております。
0:47:13	資料飛びまして 361 ページ。
0:47:17	こちらの方に、強度計算における荷重の組み合わせについてというところで、整理しておりまして図 3-1、(20) 比較結果という図を作っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:29	屋外の逆止弁の位置にですね、どれぐらいの水圧がかかるかと、荷重がかかるということを、
0:47:36	エレベーション 12 年 6 メートルの津波と 4.9 メートルの時の津波、
0:47:41	土岐で荷重比較を行ってます。結果としては、津波ですね、12.6 メートル時 246kNと。
0:47:49	常時として想定してます。水圧 4.9 メートルの津波と動水圧慣性力を加えたものが、32kNというところで、
0:48:00	津波人の方が荷重が大きくなるというところを整理してございます。
0:48:06	はい。それでは以上で説明の方は来ます。
0:48:10	はい、規制庁、木村です。
0:48:13	それでは、今説明していただいた、
0:48:17	⑥の資料ですね、の補足説明資料と、あとその補足説明の中にありました前回 9 月 16 日の指摘に対するコメント。
0:48:28	回答についてもですねちょっと確認をしていきたいというふうに思いますので、それでは確認のある方。
0:48:37	僕だけじゃないんですけど、僕が整理したから僕のコメントになってるかもしれませんが、
0:48:43	大方いいかなとは思んですけど、ちょっと気づいたことが幾つかあるので、
0:48:47	それはさせていただきます。223 ページ。
0:48:51	このフローチャートって、
0:48:53	特殊アンカーやり方なんかいうところが、
0:48:57	7 月の判断分のところ、2.3 章からイエスと落ちて、何の判断もなく、分岐してるんですよ。
0:49:04	ここでそもそもさ、ここで分岐してるっていうよりは、
0:49:08	実際にこの 233 ページを見ると、そこで多分分、
0:49:14	実際の説明資料としては分岐していて、
0:49:19	1133 ページここで表の中で、
0:49:22	特殊アンカーで個別に対応してるつってるんで、いわゆる 2.2 章で分岐してんだよね。
0:49:29	だから、多分、フローチャートをちょっと適正化して欲しいなと思っていて、
0:49:34	いわゆる特殊なんかで一般のものじゃないから、もう一つ、質いってんだよね。それがわかるようにちょっと対応してもらおうということで、ちょっとフローチャートを適正化してください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:46	はい。中国電力、高松です。おっしゃった通りかと思えます。フローチャートのほう、修正させていただきます。以上です。
0:49:54	規制庁の江崎です。あともう一つ気づきなんですけど 246 ページで、
0:49:58	うん、247 ページもそうなんですけど、試験結果って表の中で見ると、
0:50:04	例えば、表 4-5 の両括弧 1 のD10、
0:50:09	試験結果 26.7 じゃないですか。それって 244 ページの、
0:50:15	性能試験結果って、4-3 に書いてあるんですけど、その中で、D10 のところの括弧の 26.7。これ合致してるんで、平均値なんだよね。こういったとき示すときって、そこで上に書いてある。
0:50:28	下限値 225.5 とか、
0:50:31	23 が 32.3 って書いた方が、
0:50:34	信頼性高まると思うんですけど、いかがですか。書き方のあれなんですけど、
0:50:41	はい。中国電力高松です。おっしゃる通りだと思います。下限値で 1 回再度このす 200
0:50:48	47、幅ですね。はい。そういうことですね。はい。247248 をですね、244 の整理であります幅レンジを持たしてですね、
0:51:00	整理しまして、先ほどご指摘いただいた趣旨が二百四十七、八にわかるように、整理したいと思えます改めてしたいと思えます。以上です。
0:51:12	私からは以上です。
0:51:19	規制庁の三浦です。アンカーの件について、
0:51:24	なんですけど 256 ページ、ちょっといいですか。
0:51:30	表 6-1 で、左上に特シヤンク有賀単価ってありますよね。
0:51:36	表 6-2。
0:51:39	右側で、これL型なんかは特殊なので、教育委員会こう設定しますって言ってるんですよね。
0:51:47	そうすると表 6-1 の左上っていうのは、
0:51:51	表 6-2 を呼び込むんじゃないですかこれなんかピンクだと、合成指針に基づいて設定してるっていうふうになっちゃいますよ、ちょっと確認させてください。
0:52:01	はい。中国電力の高松です。これちょっと当社側のアノと解釈の問題かと思うんですけど、各種合成構造設計指針同解説を、
0:52:12	読んで参りますと、その他のアンカーっていうふうなカテゴリーがありまして、そのなかの一の特殊アンカーっていうふうに我々読み込みまして、こ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	のL型もですね、一応各種合成の中でのしかもその中にですね、個別に対応することといった趣旨の記載が、
0:52:28	当初に書いてあったんで、我々としてはこの一連の対応をですね、各種合成の中での対応ですと、で、個別に対応した結果としまして 257 ページで言うところの、
0:52:40	個別に強度設定をするっていうふうになんて解釈をしてこのように書かしていただきます。わかりました。理由わかりました。ちょっとだけでもあれですね、今いろいろお話伺っていると。
0:52:50	左上のところにアスタリスクで打ってそれを説明したらいいですね、ちょっと私はもう防災指針以外のものっていうふうなイメージだったので、ちょっと違和感がありました。はい。中国電力の高松です。承知しました趣旨がちゃんとわかるようにですね。
0:53:04	256 ページで明示したいと思います。以上です。はい。私から以上です。
0:53:23	はい。すみません中国電力の高松です。承知しました。ちゃんとそれが上流の方ですね先ほどフローのところからもわかるようになっていうふうにご指摘いただきましたけど、
0:53:33	223、233 ページですねこの辺りでもちゃんとわかるように記載させていただきます。以上です。
0:53:41	はい。規制庁の吉良です。それでは、ほか、確認する点がある方は、
0:53:55	規制庁の谷口です。
0:53:57	一つちょっと、
0:54:01	逆止弁の構造概要図のところは、細かく、
0:54:06	10、
0:54:07	6 番目の資料ですねすみません。6 番目の資料の、
0:54:13	10 ページ目からずっと概要の資料が書いてあって、その下の注意書きのところ、逆T字擁壁のコンクリートをシバしてるのが、
0:54:28	逆止弁の 7、88182 って書いてあって、
0:54:34	上岡から下のところに関しては、下方にヒックコンクリートオチ町するって書いてあるんですけど、
0:54:41	基本的に、被覆コンクリート等にアンカーする。
0:54:48	という考え方は、基本的にはこのタイを打ち増してやってるんだけど、
0:54:55	被覆コンクリート部分っていうのは、ぶつかるときに、それが
0:55:04	衝撃を与えられて何かあってもいいような区間としてやってるようなところに、
0:55:10	要は案が必要するというのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:55:15	ちょっとどういう考え方になるのかなとちょっと思ったんで、
0:55:20	その辺どういうふうを考えて、ここだけフィックコンクリートって書いてあるのかちょっと教えてください。
0:55:31	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:55:34	どちらも暴排キーなんですけれども、タイプによってその防波壁の擁壁の部分の名前を、逆T擁壁と言っているものと被覆コンクリートと言っておりますので、
0:55:48	実際にはこの5ヤギの前に漂流物対策工というコンクリートをつけるというのはあるんですけれども、今、取り付けというのはどちらも、
0:56:00	防波壁のコンクリートの方に取りつけるということで、ちょっと被覆コンクリートっていうのが、その名前がすみません良くないんですけれども、防波壁のコンクリートだという趣旨でございます。以上です。
0:56:11	わかりました。ちょっとその辺のね、書きかたのところが、
0:56:17	私のイメージとしては、今の被覆コンクリートのところは、要は貿易量に、
0:56:24	付加してやったところで、付帯躯体とは別にやってるものになるので、基本的には安価するのは、躯体側のところにきっちりアンカしてるんだっていう趣旨なのかなと思ったので、
0:56:37	あえてヒップっていう書き方をしない方がいいのかなとちょっと思ったので、そういうコメントしました。
0:56:47	はい。中国電力の高松です。すいません呼び名がちょっとわかりにくかったと思います。やってることは防波壁の躯体にアンカーをとっているということで、実態は間違いございませんので、そういうことだと思いますけれども、
0:57:00	防波壁の躯体コンクリートといった形で、読めるように、記載を適正化しようと思います。以上です。はい、わかりました。一応そういう形でしていただければと思います。以上です。
0:57:18	はい、規制庁桐生です。他、
0:57:24	規制庁モリだけです。私もちょっと途中で退席する可能性があるんで、
0:57:28	早めに言っておきますが多分、丸さんの資料ってあれですよ。N-S2の添2のiPhone015--01の開02。
0:57:40	工認図書なんですけど、そこでちょっと気づいた点があって事実確認したいんですけど。
0:57:46	61ページ開いていただいて61ページに表。
0:57:50	1.1のは、iPhoneについていう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:54	うん、課長組み合わせがあつて、
0:57:57	ちょっと違和感があつたのは、
0:57:59	防波壁通路扉。
0:58:02	てあるじゃないすか。
0:58:03	そこに、
0:58:04	衝突荷重のところ、横バーになっているんですね。
0:58:10	これはなぜかということデータ分母があるからってということなんだけど、 ぼこって、
0:58:15	じゃあ僕方で施設登録すんですかってそういうこともないんだよね。一 体だから、そうすると、こうなんか防波壁と同じような、
0:58:24	書き方をしないといけないんじゃないかなと思っていて、
0:58:27	そうしないと読み取れなくなっちゃうんで、そこをもう一度ですね、部長さ んとね、
0:58:36	設計統括責任者はですねちゃんとこれは2人で、
0:58:41	確認して、これ以外も含めてですね、ちょっと、
0:58:45	ここって基本的に基本的な考え方だけではあるけど、いわゆる矛盾した 書き方になっちゃってるんで前のページからすると、もう計装なんてない から、
0:58:55	そこは統一性とか整合性を図っているかどうかというのは、もう一度ちょ っと、品質確認していただけますか。
0:59:07	中国電力の清水です大変申し訳ございませんでした衛藤。
0:59:12	しかるべきチェックができてなかったというふうに感じておりますので今 後このようなことがないように全体的によく見て、品質確認上の問題が 多く発生しないように、しっかり確認していきたいと思っておりますよろしく願 いいたします。
0:59:25	はい。よろしくお願いいたします。それと似たような話ですね、7、同じく、同 じ。
0:59:30	当初の76ページを開いてみてください。表4-2-1-1になります。
0:59:36	1のバー18で、今18分の1ですね、のところの、
0:59:42	ところで、これはいわゆる他の後ろの方もそうですけど、多重交換し、
0:59:49	食い式擁壁を一応、
0:59:52	代表としてお話しですけど、
0:59:55	兵糧物の蘇武小っていうのはこれ部位としては出てこない。
1:00:01	中国電力ヨシツグです。これは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:05	すいません以前チギラさんからも漂流物対策工の位置付けというので、安保駅に入れるということで今すみませんちょっとまだ修正が間に合っていないんですけど入れることで今考えてるってことです。それは了解しました。
1:00:18	あともう1個なんだけど、下から2段目の、多分改良地盤って背後のここで言うと介護の、
1:00:25	岡島行ってると思うんですが、
1:00:27	ここ滑り安全率になっちゃってるんだけどそうすべきではなくて、ここに書いてある止水性を喪失させないという、
1:00:37	ことになってるんで滑りじゃないですよ。だから、
1:00:40	少なくともそう。
1:00:42	局長的な安全係数とか、うん。
1:00:46	今比、いわゆるルー
1:00:49	道ができないってことを言わなきゃいけないんで、そこはですね多分。
1:00:53	同じようなことを言わなきゃいけないので、この防波壁とかでもあると思うんで、
1:00:58	そこは例えばですね、工夫してもらって、多分岩盤とそれは違うような気もするから、
1:01:05	ここは何か分けたほうがいいんじゃないですか。いや、だって岩盤は何か止水性求めるんですけど。
1:01:10	違う米田土田から、岩盤に止水性を求めるんだったらそれ施設扱いになりかねないんで、施設要求なんで、
1:01:18	施設要求が求められるのは改良地盤。
1:01:22	あとあったとしてもそのセメントミルクでセメントビーカちょっと評価しようがないかもしれないですけど
1:01:27	はい。中国電力吉富でございます。こちらも
1:01:32	防波壁の逆T擁壁の、
1:01:33	ときにもコメントいただきまして結果の方をお示していたんですけどちょっとこちらの方にまだ反映ができておりませんでしたので今、随時説明しておりますので方針のほうに戻って、きちんと記載するようにさせていただきますと思います。以上です。はい。うん。
1:01:48	ただですね今審査の状況によって変わるとは思うんですが、それは同時対応して、
1:01:53	更新していただきたいと思います私からは以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:02	規制庁の服部です今の話に関連して、すいませんこの③の資料だけが、この他の資料のように、今後適正化するというふうなだろう、マークというか頭に他の。
1:02:17	資料は今後適正化しますよという、その
1:02:20	5月時点で、ここにもつけといてもらいたいんですよね。それです。
1:02:25	そうすれば、もう見ないので、
1:02:28	これが取れるまで、
1:02:32	よろしくお願いします。
1:02:37	中国電力清水です。ちょっと我々としてですね、設計的なところの反映ができてないところはこのマークさせていただいたんですけど先ほどおっしゃったところについてはですね、適宜修正していきたいと思ってるところでございますけどどうしてもできないところはですね、
1:02:53	そのマークを入れてですね、服部さんの無駄な時間を作らないようにさせていただきたいと思いますんで、引き続きよろしくお願いいたしますはい。
1:03:04	はい。規制庁仲村ですけどまず1点ですね、これは記載のところなんですけども、資料の6、先ほど説明あった6でいうと、
1:03:14	18ページとかですね。
1:03:22	ここ、18ページ以降説明図って入ってるんですけど、ここの中で、多分幅があるからかどうかわかんないですけども、
1:03:33	評価対象部位になってるような、重要なところですねその例えばですけどアンカーボルトの径とか、長さ固定方法とか何かそういうことをちょっと、
1:03:47	書き入れていただきたいなど1例としてアンカーボルトを書いたんですけど、ちょっとそれについてはお願いしたいんですけど。
1:03:56	いかがですか。
1:04:00	はい。中国電力、高松です。承知しました。18ページ以降主要な評価対象部位につきまして主要な形であったり長さ単価であれば径であったり長さであったり、
1:04:11	その辺りの諸元のところをですね、明記できるようにします。以上です。はい。
1:04:17	じゃあその点についてはよろしくお願いします。もう1点だけなんですけども、
1:04:22	ちょっと私が聞き漏らしたかもしれないんですけど、今日のその説明で、その屋外排水の逆止弁が全部で14あってそのうち、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:33	資料 6 でいうと七つぐらいご説明があったんですけど、
1:04:38	その中で、
1:04:41	七つぐらい説明していただいたんですけど、資料の 4 ですね。
1:04:48	これ何か適正化されてないのかどうかわかんないんですけどその、
1:04:52	2 ページのところでは、
1:04:56	2 ポツ一般事項があって一番下のところで、
1:05:02	⑦と、
1:05:05	⑧-2 を対象とするという感じでこう、この二つを何か代表にするみたいなことが書かれてるんですけど、これは最終的にこれがこの二つになったということなんですかそれとも、
1:05:18	何かまだ適正化されてないってことですか。
1:05:21	はい。中国電力の高松です。基本後者でして、すべての逆止弁、集水柵を今後評価してこちらの④の資料であったりですね、
1:05:32	強度計算書の方にも、今後反映していく考えです。以上です。
1:05:45	ウ、うそそういう対応ということですね。はい。はい。
1:05:53	終わり。はい。
1:05:57	はい。中国電力ヨシツグです。今、近藤。
1:06:01	第 7 回補正で、木場液位のアノ参考北側の方のものを出していきます。そこから、それを出すことによって進捗が確定できますのでそれを用いて今度計算書、
1:06:13	随時出ささせていただくと、ただの考え方とか許容限界は今お示しているものと思っておりますので、やり方が変わるというものではないと思っております。以上です。はい、わかりました。私からは以上です。
1:06:32	あ、
1:06:33	それでは私からちょっと 3 点ほどちょっと確認させていただきたいんですけど。
1:06:40	すいません資料の⑥。
1:06:43	ですね、の、
1:06:45	8 ページのところ、ここ概要なんですけど、
1:06:51	今日の説明もそうなんですけど、結局シューズ末っていうのは、防波壁に固定をさせると。
1:06:59	ということで防波壁と一体とする構造にして、
1:07:03	そして設計すると。
1:07:05	ということで、それで地震の入力荷重とか、そういうところを持ってきているんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:13	それは嘘。それならそれでちょっとそういう前提だっていうことをですね先に書いといた方がいいかなと思うので、ちょっとそこは県、どこに書かかっていうのも含めてですねちょっと検討していただきたいと思いますが、いかがですか。
1:07:30	はい。中国電力の高松です。
1:07:35	オク排水量逆止弁の集水枡が基本的には防波壁に固定されているといったところを明記するというので、承知いたしました。で、ちょっと1点だけちょっと補足させていただきますとですね。
1:07:48	屋外排水の逆止弁の内ですね、
1:07:51	今回の資料の図C、
1:07:56	まではできてないんですけど、⑨という逆止弁がございまして、
1:08:02	平面図で言いますところで、9 ページのですね、荷揚げ場の南側にありますやつなんですけど、こちらについては唯一アノば防波壁から離れて独立して設置してあるものになりますので、
1:08:17	そういったところもわかるようにですね、基本的な設計、配置、構造の考え方がわかるような、記載をですねちょっと工夫して、冒頭に入れたいと思います。以上です。
1:08:28	はい、わかりました。それでこの⑨のところっていうのは今後、
1:08:34	説明があると思うんですけど、
1:08:36	具体的にあれですかね設置ってところにさ、設置されるんですかね。
1:08:40	そういう、
1:08:43	頑健性のあるものにくっつかないんであれば、
1:08:47	岩盤に岩着させるとかですね何かそういったところって今どういう設計、考えていますか。はい。中国電力ヨシツグでございます。こちらについては、
1:08:58	防波壁の
1:08:59	逆T擁壁等を同様にですね、下からの地盤改良、同様の物性のもので地盤改良して、で、
1:09:06	その
1:09:08	上に、集水枡を乗せるといったような構造を考えております。うん。この近辺に先日も少しご説明させていただき、漂流防止、
1:09:18	装置、
1:09:19	係船中ですがけれども、そこの床応答を、今後耐震計算書これも第7回に出すんですけどもそちらを用いまして振動を設定して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:29	またご説明をさしていただきたいというふうに考えております。以上です。
1:09:34	ビスティ大豆、あ、わかりました。また今後ですね。はい。確認していきたいと思います。
1:09:40	あと2点目ですけど、9ページのところです。同じ9ページのところで、
1:09:46	この
1:09:48	設置位置図があった後に、以前9月の16日のヒアリングの時に、
1:09:56	説明いただいた資料では屋外排水逆止弁の設置状況一覧ということで、
1:10:03	まずは地中に設置されてますっていうのがですね、それぞれわかったんですけど、それがあった方が多分最初、わかりやすいかなと思うんですけどそこをちょっと検討いただけますか。
1:10:17	はい。中国電力高松です。小路武者承知しました。設置状況の一覧表ですね、内容を聴取し、承知しておりますので、挿入を考えます。以上です。
1:10:28	はい。議長共通よろしく申し上げます。
1:10:32	最後、3点目ですけど、
1:10:35	共同計算書のところ100、276ページのところで強度計算者の増加法人。
1:10:43	なんですけど、
1:10:44	ここで
1:10:47	今回は超上流見ないで津波時ということで、津波Gで検討するっていうそれはわかったんですけど、津波時っていうのは、
1:10:58	漂流物衝突荷重が含まれるんですけど、今回何で含まれてないのかっていうのは、先ほどの話とかと関連すると思うんですけど、
1:11:08	地中に埋まってるからということだと思っんですけどその辺もちょっとわかるようにしていただいた方がいいかなと思うんですけど。
1:11:17	はい。中国電力の高松です。承知しました。前回9月16日のヒアリングの際もですね、
1:11:24	集水ますに、酢豚についての漂流物の衝突の有無を検討することといったコメントもいただいておりますので、ちょっと漂流物について今後検討してですね、ご説明できるように考えていきたいと思います。以上です。
1:11:38	はい、わかりました。私から以上です。
1:11:47	規制庁の服部です。私から何点か確認させてください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:52	⑥の資料の 10 ページをお願いします。
1:11:57	先ほど来タニグチとかチギラの方から、
1:12:02	内町コンクリートについての話があったと思います。
1:12:06	うちもしコンクリートの位置付け、
1:12:10	大体今わかったんですけど、
1:12:13	これは防波壁の躯体の一部。
1:12:18	という位置付けでよろしいですか。
1:12:22	はい。中国電力高松です。当社としましても、おっしゃった通りで考えております。以上です。
1:12:28	規制庁の服部です。
1:12:31	一部ということは、
1:12:33	防波壁と一体化してるということですよ。
1:12:37	であれば、その一体化しているということはきちんと説明していただきたくて、
1:12:43	具体的には、どういうふうに、
1:12:46	アンカーを打って、鉄筋を入れてるのか入れてないのかも含めて、これはこういう一体化をしてるんですという、
1:12:54	ことは示していただきたいと思っています。
1:12:57	さらに、
1:13:01	少しこれわからないんですけど、
1:13:05	取水ます 2 作用する荷重を、
1:13:09	受けるところわあ、
1:13:11	結局この牛内町コンクリートだけなんですかね。
1:13:16	内町コンクリート 2 が受けて、それを、
1:13:20	一体化させた防波壁に伝達させて持たせるということであれば、
1:13:26	ちょっとこら辺は少し議論があるのかもしれないんですけど、
1:13:30	ここのミシマ地区内ましコンクリートが一、例えば、
1:13:38	壊れたら、
1:13:41	内町コンクリートだけで、それをすべて受け持つと。
1:13:45	そこには多分もう、
1:13:47	モーメントがかかったりするのかな、か作用荷重がかかれば、
1:13:51	そうすると打ち増しコンクリートが壊れれば、
1:13:55	それは成立しないわけですよ。
1:13:57	だからこら辺をどういうふうに考えてるのかなあ、鉄筋を入れて一体化するっていうのは示していただくとしても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:14:05	その阿藤アノ、
1:14:07	何だろう。
1:14:09	防波壁の躯体の大きいところでがんと受け持つんなら、それは4月ぐらいでしょうと思うんですけど、
1:14:16	今回そのそこら辺の考え方が少しわからないので、そこら辺の考え方も少し説明していただければなと思うんですがいかがですか。
1:14:24	はい、中国電力ヨシツグです。はい。
1:14:27	次、10ページに書いてあります。うん。いえる8メートルより下方のところに打ち増しをしております。で、実際集水柵自体は、
1:14:39	上の方に、
1:14:40	蓋よりも上のところにも
1:14:43	ちょっとコンクリートを打っております。ですので、打ち増し以外のところにもアンカーをとって、荷重分担をするような構造なっております。佐藤さんおっしゃられるとちょっとこの構造についてですねまだ説明しておりませんので、
1:14:56	どういう考え方でこれを打ち増しているのかといったところとその荷重を受けてる考え方、そういったところをちょっと整理してですね、またご説明させていただけたらと思います。以上です。
1:15:07	規制庁のハツリですはいわかりましたこの図を見ると、そういうこともわかるんですけど、ちょっと考え方設計の考え方としてね、すべての荷重をこの内町コンクリートだけで、自動自動抵抗を見てるんであれば、少し、
1:15:21	県評価が必要なのかなという気もするし、そこら辺はちょっと考え方だけ示していただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:15:31	それと43ページお願いします。
1:15:39	今回材質として、ステンレスを使ってるんですけども、
1:15:44	前回か前々回かな、このヒアリングにおいて、ステンレスの場合は、ステンレスの
1:15:51	基準類から、その許容限界を持ってくるという、
1:15:56	説明もあったと思うんですけども、今回今回このステンレスの狂言会については、そういうステンレスの方の、
1:16:06	基準から持ってけないんでしょうか。どうぞ。
1:16:15	はい。中国電力の高松です。結論から申しますと持ってきてないいいか、お答えして、基本的にはこのダム堰の施設技術協会の基準ですかね、こちらで設定しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:28	以上です。ほぼ規制庁規制庁のハツトリですはい。
1:16:34	少しそこがわからないので、そやわからないというよりも、じゃあなぜ前回はステンレスのやつを持ってくるんですかっていうところが少しわからなくて、
1:16:44	統一的にステンレスのやつはもう、代用できるんですということであれば、統一するのかなという気もするしそこら辺の考え方が少しわからないので、個別になっても結構です。
1:16:56	ただ、
1:16:58	そこら辺の整合性のところの説明はちょっとしていただきたいなと思えますがいかがですか。はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。衛藤。今回は、
1:17:07	こういった堰の構造そのものが、このダム堰の基準を使っております。ですので、そこに記載してある基準を使うのが、標準だろうということで今回こういったことをさせていただきました。で、
1:17:21	おっしゃられる通り、その他のところでステンレスの基準を持ってきたところもございますので、当社の考え方というのはまたご説明をさせていただきたいと思えます。以上です。
1:17:31	規制庁の服部です。わかりました。
1:17:34	46 ページをお願いします。
1:17:36	これは記載になるんですけども、
1:17:39	最初のところの前段の話がありまして、
1:17:43	固有周期の4章に示した通り、
1:17:47	兵門司においては、5タイ、
1:17:50	剛構造として考慮して書いてあるんですけど、
1:17:53	なぜここに、
1:17:55	甲斐へ開門時の話が入ってないのかなってのが少し違和感があって、
1:18:01	通常なら閉門司においては5タイです。開門時には振り子構造ですみたいなことがあって、それぞれ、こういう周期を踏まえて、
1:18:11	地震力を設定してるんですみたいな記載になっ
1:18:16	てるのかなと思いつつ、なぜ閉文しか書いてないのかなというのはいかがですか。
1:18:30	少々お待ちください。規制庁のハツトリですはい後ろの方に行くとそれが出てくるのはわかっています私が言ってるのは最初のところの、
1:18:39	はじめにのところで、そういう宣言を片っぽしかしないというところが少し違和感があるなというその記載だけの話をしています。以上です。は

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	い。中国電力の高松です。承知しました甲斐も二瓶文字両方検討しておりますので、
1:18:53	入口の 5 ポツ 4 のイントロのところですね、そちらで、そういった趣旨を追記させていただきます。以上です。ホ規制庁の服部です。はいわかりましたの記載だけなんですけど、
1:19:04	④の資料、これはまだ直ってないということなんですけれども、これの 22 ページも同じ記載がありますので、そこら辺も連動させる形で、
1:19:15	主、適正化していただければ、適正かというのがちょっとわかりませんが、検討していただければと思います。
1:19:23	では 57 ページをお願いします。
1:19:32	規制庁のハツリです。
1:19:34	57 ページに設計に用いる設計を新地震力というのが出ていまして、これを見ると、こういう周期次第、
1:19:43	なのと、その地震応答解析の床音スペクトル次第というところあるんですが、
1:19:50	あまり広く離れていない離れているといえば離れているんですが、
1:19:55	場所で、水平地震力が 2.5 倍、例えば逆止弁の 8 ですと、1.4 倍、1.4。
1:20:04	D10 になると 3.5 ですよね。
1:20:07	その理由というのは 56 ページに書いてあるんでわかるんですけど、
1:20:12	小令和
1:20:14	そもそももう、この床音スペクトルを出してるところがピンポイントではない。
1:20:22	ということも踏まえて、
1:20:25	この何らかの不確かさみたいなものは、
1:20:29	こういうところに入ってこないのかなっていうのがちょっとこの、余りにも違う設計指導が違うというところに少し、
1:20:35	引っかけまして、
1:20:38	何らかの不確かさは入ってこないのかなあとということで、
1:20:42	ちょっと確認だけさせていただきたいんですがいかがですか。
1:20:47	はい、中国電力ヨシツグです。
1:20:49	はい。
1:20:51	我々もちょっとこのスペクトルを見て、特に
1:20:55	10 から 12 っていうところの部分ですね。
1:20:58	大きいなというのは、認識はしておりますんで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:02	小構造的なところのものもあるんですけども、場所的なその選定したところという意味もあると思いますので、今
1:21:13	断面選定のキーに、もともと逆Tで言えば1断面だけをやってた、途中でいや4断面も追加するというので今、試みております。ですのでこのエリアの中で選ばれたものの、
1:21:27	その最大の加速度の、
1:21:30	のアノスペクトルを見て評価をしようというところで、
1:21:34	そういったばらつきのところの評価というのが見られるかなと思って、今ちょっと両方見てみないと、どういうふうな関係になってるかっていうのもあるんですけども、それをちょっと見てですね、
1:21:48	こういう周期も見て、どういったところが選ばれるかというのは少し考えてみたいと思っております。以上です。ホ規制庁の服部です。はいわかりました。ちょっとここで考えてたのは、例えば機器だと、
1:21:59	10%拡幅をしてますよね。ただその拡幅って横方向に拡幅してるだけなので、どうなのかなと思いつつ、ちょっとそこら辺の、余りにもこの違うところ少し疑問に思ったんです。
1:22:14	2断面をやることによってその不確かさを少し、評価できる考慮されるということは理解をしましたし、
1:22:23	一応ここは
1:22:27	そこで理解をしたということにしておきます。
1:22:30	はい。中国電力ヨシツグです。このスペクトルも一応拡幅はしておるんですけども、今、10%確保はしております。衛藤スペクトルの基本方針と同じようなやり方でやっておりますので、そこは見てるんですけども
1:22:45	上側と言われると、それはしておりませんので、ばらつきとしては、
1:22:50	他の断面のものもちょっと見て、少し検討してみたいと思います。以上です。規制庁のハツリですはいわかりました。
1:22:59	おんなじ話がいろいろとその許容限界のところにあります、今回結構その実験から見解を求めたりだとか、してるところがあると思うんです。例えば、
1:23:10	255 ページ。
1:23:25	せん断に対する許容限界の考え方なんですけど、
1:23:31	これはコンクリートひび割れ発生時の荷重、
1:23:37	を持ってきてるということでよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:42	はい。中国電力高松です。今服部さんがおっしゃった通りでございます。以上です。規制庁の服部です。
1:23:51	この値というのは、
1:23:54	255 ページのこの下の写真に、少しわかりやすいのがあるんですが、
1:24:00	ここで出てきた荷重の生ちいをそのまま、
1:24:05	許容限界としてるんでしょうか。
1:24:10	はい。中国電力の高松です。この写真はですね、実験をした後にですね、その左側に向かって引っ張ったフックを取り除いた。
1:24:24	後の状況を示しております、実際実験をしてる時はこういったグラフに示すようなですね、荷重変位のグラフを記載していておりますので、そのグラフを見ていっての、
1:24:37	何て言いますかねこの変曲点といいますか、男性からこう1回
1:24:44	右、右側に向かって折れてますけどそういったところを見て、あと、コンクリートの、
1:24:52	挙動を見てそれでここでひび割れが発生したというふうに判断しております。以上です。
1:24:58	規制庁のハットリですはいわかりましたちょっと先ほども話があったんですが、
1:25:03	この実験って、基本的にいろんな不確かさが入っているし、
1:25:07	その実験のそのものの値を許容限界とするってあまり考えにくい、他の指針類を見ても、いろいろなたくさんの事件があって、
1:25:18	さらにそれを正規化して、ある程度のワンシングマも見ながら、影響限界を少し安全率と不確かさに対する安全率みたいなものを考えてやってるっていうのが一般的だと思ひまして、
1:25:32	254 ページの場合は、コンクリートの試験に対して、より信頼性のある降伏荷重これはもう、
1:25:43	多分
1:25:47	きちんとした荷重、きちんとした荷重ってのは変ですけど、普通の降伏荷重だと思いますので、こういう形で採用するならわかるんですけども、
1:25:56	降伏荷重を下回るひび割れの試験の荷重をそのまま使うというのは、少し違和感がありますので、
1:26:05	そこら辺の不確かさに対する考え方ももう少し、
1:26:08	説明していただきたいんですがいかがですか。
1:26:13	はい。中国電力の人見です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:16	ちょっと考えさせていただきますけど我々が例を考えたり、ちょっと理由だけまずさして説明させていただけたらと思います。で、実験やりましたところ、ちょっと、
1:26:26	加来ってもらったようなところが出てきましたが、そのまま強度としては出てそれから降伏したという状況になっています。ここをそのまま男性として読むか。
1:26:36	どうかというところを少し確認をするということで実験時の状況を確認いたしますと、
1:26:42	床単価のちょっと表層部分のコンクリートが少し、
1:26:45	ひび割れが入ってちょっとずれたという上で、これはどうしても変位の観測のことも考えてそういう、これ、直接、
1:26:57	てブメント、どっかにケイソクの、
1:27:02	方法があるんですけど横方向のものを見ていて、どうしてもその表面のところだけがずれただけでも少し変形がずれてしまうと、そういった
1:27:12	もので、実際は今ここに書いてあります。
1:27:15	54とか53.9ほぼほぼNが単価の交付強度ぐらいまで出ているのではないかとは思ったんですけども、ただ、やはり我々としてもその、
1:27:25	江藤下がったところで、少し曲がったような曲線も出ておりますので、ということで少しアンゼンガワニこのコンクリートの封というのを考えました。
1:27:36	ただあのあたりさんがおっしゃられたのも、ちょっとよくわかりますのでちょっとこの試験結果をもとにもう少し考察をして、もう少し我々の考え方を、もう1回ご提示でそのときにバランスが必要であれば考慮させていただけたらと思います。以上です。
1:27:50	規制庁のハットリですはいわかりましたまあ、あの口座に比べてコンクリートって自然材料で配合があって、その配合をちょっと変えただけでも、試験がちょっと変わったりするので、
1:28:01	そういう不確かさもあったりするのでどうかなというのがあるのと、
1:28:06	今おっしゃられたように、確かにコンクリートの場合は、檀セイキを少し超えたところでそれは計測として現れていても、見た目は全くわからない、壊れてるとは見えないので、
1:28:19	引っ張りじゃないので千田なので、そこら辺の考え方は少し理解はできるので、少し考察、今後、別に資料にどうのこうのというのは、どこまでかは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:34	取れませんが、少し中国電力の考えを説明していただければと思いますのでよろしくお願いしますよろしいですか。
1:28:55	規制庁のハツリですはいわかりました。あと2点ほど。
1:28:59	336ページをお願いします。同じような確認になります。
1:29:04	ここで荷重、
1:29:07	この話が出ているんですけど、
1:29:09	これ補足説明資料なんですけど、
1:29:12	荷重を、
1:29:14	どうやって出して、
1:29:16	どうやって、
1:29:18	どういう条件で出して、
1:29:21	どういうプロセスがあつて、どういう荷重値、
1:29:25	になって、実際にかけてるかという説明がない。
1:29:30	いわゆる度、例えば、
1:29:33	津波荷重だと、どっかに書いて、さっき書いてありますけど12.6。
1:29:38	のものを使って、
1:29:41	こことこの高さを見て、これを暴力で出すと、こうなります。
1:29:48	例えば、マーク体重はなかなか書けないんですけども、せめて単位体積重量を考慮してこういう式でやってます。配管と角CABRIとか水圧とか水圧も、
1:30:00	自明といえば自明なんですけどね。体裁としてもありますので、
1:30:05	少なくとも式があつて何か計算式があつて間瀬白水ケースが0.5を使つてますとか、そういうようなことがあつてもいいのかなと思ったんですがいかがですか。
1:30:19	はい。中国電力の高松です。はい。承知しました。荷重、松波もそうですけど荷重設定のプロセスどういうふうな荷重を設定してどういうふうに評価してるかっていうのが、
1:30:31	ちょっと補足説明の中で、ちょっと少ないところもありますんで、そこをしっかりと書いていくようにします。以上です。
1:30:37	規制庁の羽鳥ですはいわかりました。同様のことが、まず344ページ辺りもあつて、
1:30:43	ここも、
1:30:45	どういうふうな、例えば、例えば挙げますと7.4.5なんかは、長辺方向を単純支持モデルにより曲げ揉めとる。
1:30:57	認めてみたいなのが書いてあるんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:00	どういうモデルを使ってるのか単純ばりなのか、その針の長さは幾つなのか。
1:31:05	荷重はどうやって書けてるのか。
1:31:08	そういうモデル図とカーそういうものがあって、その結果断面力図が出てきていて、
1:31:16	そこから、
1:31:18	ほぼ細かく言えばいろいろあるんですけどそこから駄目計算をすると、応力が出てきて、的能とか、コンクリートの能力が出てきてっていう流れなんだと思うんですが、
1:31:29	本当に最後の結果しか書いてないので、補足説明資料ということもあって、どういうモデルでどういうふうに計算して断面でこういう断面力が出てきました。
1:31:39	ぐらゐのことはあってもいいのかなと思ったんですがいかがですか。
1:31:45	はい。中国電力の高松です。失礼しました服部さんのおっしゃる通りかと思ひます。344 ページのアンカー金であったり、塗布たの評価であったり、こういってところに、
1:31:56	荷重図であったりとか断面力図、こういってところの説明は必要かと思ひますので、今回、記載して、ご説明したいと思ひます。以上です。規制庁の服部です。わかりました私から以上です。
1:32:15	はい、規制庁チギラです。
1:32:17	奥君。
1:32:19	確認する点ございますか。はあ。
1:32:23	よろしいですか。
1:32:26	はい。
1:32:28	中国電力から何かありますか。
1:32:32	はい。中国電力高松です。当社の方からはございません。以上です。
1:32:37	はい、わかりました。それでは本日のヒアリングの方を終了いたします。お疲れ様でした。
1:32:44	ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。